



南小だより 6月号



令和6年(2024年)5月31日発行

すてきな出会いのある学校 箕面市立南小学校

〒562-0041 箕面市桜6-5-1 TEL 072-721-2522 FAX 072-722-2522

めざす子どもの姿「自ら聞き、自ら発信し、お互いに認め合える子」



ヒロシマが問いかけるもの

校長 山下 純

6年生が6月3日～4日に1泊2日で広島方面に修学旅行に出かけます。そして、この修学旅行をより学びがあるものにするため事前に、戦争や原子爆弾について調べてまとめたり、折り鶴を折って千羽鶴を作るなど平和学習に取り組んでいます。その一環として、当時、広島で被ばくした方を親族（おばあさん）に持つ他校の先生を講師として招き、6年生におばあさんの体験を交え、ヒロシマについて話をしていただく機会をもちました。

原爆が投下された日、おばあさん（当時中学生）は学徒動員として出勤を命じられた初日だったそうです。【以下おばあさんの手記の抜粋です。＊おばあさんは今も健在です】

その朝、友だちと広島駅で電車を待っている時に、誰かが「Bだ」と叫んだ。皆が指さす上空を見上げるとキラリと機体が光ったと思った瞬間、何もわからない…

何時経ったであろうか、ふと気づくと、あたりは夕闇のように暗い。一瞬にして地獄と化した中で、一緒に居た友人はどこに行ったのか周りにはいない。早く、早く、逃げなければ… だが、体が思うように動けない。顔や手が焼け付くように痛い。

逃げ惑う人々は肌まで焼けて服も皮膚もボロぎれの様に垂れ下がり逃げて行く。人々の後ろをぞろぞろとついて行く。ペチャンコにつぶれた屋根の上で、4、5才くらいの女の子が泣いている。自分の体が思う様にいかなくて、逃げるのが精一杯でどうしてあげることができない。

「もう先へは行けないぞ」と誰かが叫んだ… 猛火に囲まれてしまったんだ。炎の中、もうこれ以上先へは進めない。もう川の中しか逃げる場所はない。川の水は引いていた。水の幅が狭く、その水面を覆う程の死体が目の前を下流へと流されていく。川土手の家々は、猛火となって焼けくずれ、頭上に落ちてくる。アツイ、アツイ。避難してきた周りの人々が次々と息絶えて水に流されていく。

どの位経ったのだろう。全市が焼けつくされて、ふと見ると近くの橋の上で人影が動く。我に返り、早く家に帰らなければ。生きていることを早く母に知らせなければ。

途中、市街地の大きなビルは焼けくずれ、ガレキと化して人っ子一人歩いていない。足が焼けつくようにピリピリと熱く、前に進めない、でも立ち止まることもできない。焼け崩れた建物の中から聞こえるうめき声。人や馬の黒こげの死体のごろごろと転がって道道を塞ぐ。

足元にごろごろと横たわる死体やガレキにつまづいては転び、死線をさまよいながら、必死で自宅に着いたのは夕方だった様に思う。人相は変わり、着ていた学生服もボロボロにたれ下がり、不安に待ち続けていた母は、一瞬、我が子と思わなかったという。

病院に行った時は、被災者であふれていた。だが、当時は薬など殆どない。あったとしても、助かりそうにない私など赤チン一滴つけてはもらえなかった。その日から、生死をさまよう私を、母は人伝えに聞いた薬草を傷口に当て替えながら必死に看病してくれた。

もちろん鏡など見せてはもらえなかった。当時、医院では助かる見込みはないと見放されていただけによく生きて来たとされていた程。だけど、ケロイドは残ってしまった。こんな体になって人目にさらしたくない。いっそ…と死を考えたことも数知れない。だが、薬草を探して来ては一生懸命看病してくれる母の姿を思うと悲しく涙がにじむ、生きなければ母に申し訳ない。

戦争という不幸な時代に生まれ育ち、一発の原子爆弾で生と死の間をさまよいながら今を生かされている。そして、多くの人々の犠牲の上に今の平和がある事を忘れないで感謝の気持ちで一日一日を送りたい。あの日亡くなった多くの学友達と同じ立場にあった自分が、今こうして生かされている自責の念が今も消えない。

あの日の事は語りたくないそっとして欲しいと思う反面、戦争の恐ろしさ、核の恐ろしさを後世に伝えなければ…

あの逃げ惑う中でペシャンコにつぶされた家屋の屋根で泣いていた女の子、どうなったんだろう、助けてあげられなくてごめんね。心の中で手を合わせています。

この修学旅行で子どもたちが訪れる平和記念資料館には思わず目をそむけたくくなるような悲惨な展示物があります。そういった展示物が教えてくれることは、おばあさんが伝えてくれたことは本当に起こった出来事であり、遠くない未来に起こりうるかもしれないということです。そして、毎日家族と過ごし、学校で友だちと過ごすというあたりまえの日常を戦争や核兵器はあっという間に消し去ってしまうということです。しかも、その核兵器は人が考え、作り出し、人の手によって使われたということです。そんなことが心の深いところに迫って来ます。

講師で来てくれたこの先生も6年生を引率し、修学旅行でヒロシマを訪れたことがあるそうです。孫であるこの先生がおばあさんに被ばく体験を事前学習として子どもたちに話して欲しいと頼んだことがあるそうですが、おばあさんに様々な思いがあり、紆余曲折があったと聞きました。

改めて、戦争は、原爆は、人々の日常を一瞬で地獄に変え、50年経とうが100年経とうが人の心にいつまでも影を落とし続けるのだと思わせられます。

この日、講師の先生が子どもの質問に答え、最後に話をこう締めくくりました。

『最初、6年生を修学旅行に連れて行っていた時は“原爆や戦争の悲惨さを伝えたい”

だった。でも、おばあさんの話を聞いた後は、“祖母の代わりに次の世代に祖母の被爆体験を伝えたい”“命の大切さを伝えたい”に変わった。(祖母は高齢であり、性格的にも大勢の小学生の前で話をするのは難しいので私が代わりにしたいという思いでやっています)

南小の6年生のみなさんもヒロシマをしっかりと自分で見て、感じて、学んで欲しい』

教室で学習する場面では、私も含めて教師はどうしても「まとめよう」「そろえよう」としてしまいます。学びの過程でも、終末の答えを出す場面でも、ある程度足並みをそろえようという意識が働きます。修学旅行の平和学習では、そこをもっと子どもたちに委ねてみようと考えています。

未来を担う子どもたちには、“ヒロシマ(おばあさん)が問いかけるもの”について主体的に感じ、考え、それぞれの答えを出すきっかけとなる修学旅行にして欲しいと思います。そしてまた、子どもたちと楽しいこともたくさんして、大人になっても忘れられないような楽しい修学旅行にしたいと思います。

緑が濃くなり、夏が近づいてきました。6年生とヒロシマへ行ってきます。

6月の行事予定

		校内	スタサポ	放課後開
1	日			
2	月	【朝読書】 A5	○	○
3	火	【朝読】 6年修学旅行	○	○
4	水	【朝読】 6年修学旅行 1年 PTA 親睦会	○	○
5	木	【朝読】 6年生のみA4 S S W	○	○
6	金	【朝読】 心臓2次 i-check (生活状況調査)	○	○
7	土	【朝学】		
8	日			
9	月	【朝読書】 プール開き 体測1年 S S W・S C	○	○
10	火	【児童朝会】 体測2年	○	○
11	水	【朝学】 体測3年 おはなし会	○	○
12	木	【朝学】 体測5年 S C	×	○
13	金	【朝学】 個人懇談のお知らせ配布日	○	○
14	土			
15	日			
16	月	【朝読書】 6年生イングリッシュタウン	○	○
17	火	【朝学】 5年生レイクスクール	○	○
18	水	【朝学】 5年生レイクスクール	○	○
19	木	【朝学】	○	○
20	金	【朝学】 5年生のみA4	○	○
21	土	サタデースクール		
22	日			
23	月	【朝読書】 1年生ブラッシング指導	○	○
24	火	【朝学】 危機対応訓練 (児童)	○	○
25	水	【朝学】 委員会	○	○
26	木	【朝学】 おはなし会 A5	○	○
27	金	【朝学】 A5	○	○
28	土			
29	日			
30	月	【朝読書】	○	○
七月の行事予定	7/1 (火)	児童朝会 平和週間 (~10日)		
	7/2 (水)	平和集会 小中一貫教育あいさつ運動		
	7/3 (木)	個人懇談 A4 小中一貫教育あいさつ運動		
	7/4 (金)	個人懇談 A4 小中一貫教育あいさつ運動 社会を明るくする統一活動日		
	7/7 (月)	個人懇談 A4		
	7/8 (火)	個人懇談 A4		
	7/9 (水)	クラブ		
	7/14 (月)	校内支援委員会		
	7/16 (水)	A5 (1,2年 A4)		
	7/17 (木)	A5 (1,2年 A4)		
	7/18 (金)	A3 終業式		

卒業式の日程について

令和7年度の卒業証書授与式は、**3月18日(水)**に決まりました。

※小中一貫校区カレンダーでは3月17日(火)となっていました。お詫びして訂正します。

職員の着任について

5月より、支援教育支援員として、中村真理が着任しました。
よろしくお願いします。



小中一貫教育の取り組みについて

三中校区(南小・西南小・三中)では、9年間(小1～中3)を見通し、子どもたちを校区でよりよく成長させるため小中一貫教育の取り組みを進めています。今年度は、6年生の体育と算数に三中の教師が来て指導を行っています。さらに、三中に配置された小中一貫教育推進コーディネーターも来校し、子どもの学びの様子を見たり教職員どうしの連携を図ったりしています。また、あいさつ運動などの児童会・生徒会の合同企画、3校合同での学校協議会等、校区で交流、連携する機会を持つ予定にしています。

水泳指導について

今年度も、水泳指導を行います。6月9日(月)以降、各学年順次プール開きを実施します。水泳は全身運動であり、心肺機能の向上など、体力向上に効果のある運動ですが、健康・安全に留意しなければ、生命の危険性もともなう学習活動でもあります。したがって、学校でも十分に健康・安全に留意して取り組みます。お家でも、安全に留意することをお話しいただいたり、毎朝の検温や健康チェックをし、体調が優れないようでしたら水泳の授業は見学するようにしていただいたり、ご協力をお願いします。

○持ち物

- ・水着(無地の黒か紺、名前をつける)、帽子、バスタオル、足ふきタオル
- ・ゴーグル、ラッシュガードは、ご家庭の判断で使用してください。

※ラッシュガードのデザイン是水着に準じ、安全のため、フード・ファスナーについていないものに限ります。(購買部でも購入できます。)



熱中症について

気温の上昇が年々高くなっています。今年もかなり厳しい暑さが予想されます。熱中症予防として、特に体育や休み時間では、暑熱順化(体を暑さに慣れさせること)に留意し、休憩やこまめな水分補給をしながら活動しています。休み時間運動場に出るときは帽子を被る、水分補給をする、しんどくなったらすぐに先生に言う等の声かけも行っています。熱中症には、食事や睡眠など日常の生活サイクルとも関りがあります。しっかり食べてよく寝るなど、お子様の生活習慣にもご留意いただきますようお願いいたします。また、熱くなるに従い、少しの活動でもたくさん汗をかきます。学校での様子をお子様にご確認いただき、タオルや多めの水分を持たせていただきますよう、お願いします。

南小サポーターズ(学校支援ボランティア)の募集について

本校では学校支援地域ネットワーク事業(学校ボランティア新制度)のモデル校として「南小サポーターズ」の取り組みを進めています。この事業は地域・保護者のみなさまに、授業中、教職員の指示のもと子どもの学習をサポートをしていただくものです。(南小学校では主に家庭科の実習と習字の学習の支援をお願いしています。)

本年度も新たにボランティア登録していただける方を募集いたします。

(メールアドレス minami.s.sapo@gmail.com)にご連絡ください。学校が選任したコーディネーターにつながります。令和7年度のコーディネーターは、宮下美穂様・池永理紗様です。(これまでコーディネーターを担っていた山田郁江様は、令和6年度末をもって退任されました。ありがとうございました。)

※メールにてボランティア登録する意思とお名前をお伝えください(保護者の場合はお子様の学年クラスも合わせてお知らせください(お子様を通じて学校から書類をお渡しします)ぜひとも子どもたちのために多くの方の参加をお待ちしております。

学校の様子を学校ブログ「南小 NOW」で紹介しています。
右のQRコードから閲覧いただけます。ぜひご覧ください。

